

新緑の広町緑地で開園式

市民の会がお餅180食を提供



認定NPO法人・鎌倉広町の森市民の会

4月に開園した広町緑地の開園式が5月15日、緑地内の小竹ヶ谷で催され、国交省、神奈川県幹部職員、地元の自治会・町内会長ら約50人が招かれました。私たち市民の会の黒川弘理事長、

家原義靖副理事長、大屋進顧問も参列しました。



新緑の木立の中に張られたテント内で、午前10

時に始まった式は、来賓の祝辞のあと、松尾崇市長らがテープカットをして、約40分の次第を終えました。同時に、市

民の会が用意した搗きたてのお餅を提供しました。

もち米10キロは緑地内で昨秋に収穫したものです。開式前に4キロ・2臼を搗いて、自主保育グループ「でんでんむし」の母親らがあんこ、きなこ、ダイコンおろしにまぶした約80食を来賓らに提供。閉式後に残り6キロ、3臼を搗いた約100食を、裏方を務めた市職員、でんでんむしの母子らに、振舞いました。



松尾市長も飛び入り